



「フランス語圏との国際交流および国際協力の分野 で活躍できる人材の育成」

法文学部 准教授 安齋 有紀

将来アフリカ大陸の国や地域で国際交流や国際協力の分野に関わる職種に就くことを希望する学生にとって、現地で公用語とされているフランス語の習得はもちろんですが、フランスとの関係からその地域について（文化、風習、教育など）歴史的背景も含め理解することが求められます。そこで、フランス言語文化研究室では学生がヨーロッパ諸国に限らず、より広い視野をもって世界に広がるフランス語圏とその多様性について学べるような授業を展開しています。

これまでに、研究室所属の学生が「トビタテ留学JAPAN」の奨学金により、フランス語圏のセネガル共和国とベナン共和国でインターンシップを行いました。農場および飲食店での研修や日本の食材の流通を通して、日本の食文化を紹介する活動を行いながら、現地の学校教育や言語政策について調査を進めました。

このように国際交流や国際協力に関心を持つ学生が、大学在学中に様々な地域について理解を深め、その学びの成果を将来の仕事に繋げられるような指導および支援に努めています。



セネガル共和国およびベナン共和国でのインターンシップの様子